

大阪心から森へ通信

2015.6 Vol.28



清光林業 推定樹齢 250年のスギ

Contents

清光林業の作業路見学.....	2	木根館・ラ・フォレスタ イベントのお知らせ.....	4
間伐材の利用が進んでいます!	2	山林の伐採・譲渡に係る特例について	5
森林組合の歴史.....	3	認定プランナーが誕生しました	5
「あなたとみんなのみどりのシンポジウム」が開催されました。.....	3	和泉市観光案内所「いずみの国観光おもてなし処」が移転オープン	5
森林国営保険が森林保険に変わりました	3	季節を彩る“府民の森”	6
木と土でできた当組合オリジナルの家	4	これからのシーズン 屋外作業のお伴に森林香	6

清光林業の作業路見学

壊れにくい岡橋清元氏の道づくり

平成27年3月17日、奈良県で江戸時代から林業を営む清光林業(株)が敷設した作業路の見学会が、平成26年度森林・林業人材育成加速化事業(事業主体…一般社団法人大阪府木材連合会)で実施され、大阪府指導林家である奥野壽一氏をはじめ、当組合の職員を含め13名が参加しました。

清光林業の岡橋会長の案内で、同社が開設した奈良県川上村の作業路を見学。岡橋会長は大阪の千早赤阪村で林業を営む大橋慶三郎氏を師と仰ぎ、大橋式を基本とした作業路開設を進められていることです。



清光林業の岡橋氏から説明を受ける

岡橋氏が開設した作業路は2tダンプの通行を想定し、幅員2.5mを確保。2tダンプの通行に必要な路肩の強度を保持するために、丸太組みによる地盤補強と入

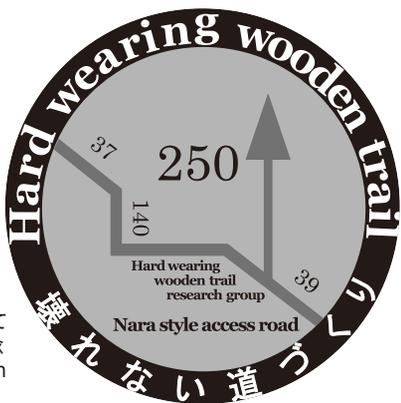
念な砕石転圧を実施されています。その際に使用する丸太については、将来の腐朽を予想し、大径ではなく小径木を使うことで腐朽後の路盤の落ち込みを防ぐなど、長年の経験と工夫を散見することができました。



尾根筋をつづら折れで登る

また尾根筋を掘削した際に発生した碎石を路盤材に使用するなど、現場発生材のリユースも進め、無駄なコストを削減する努力も行われています。

その他、作業路を開設する山の状態により、計画ルートへの微修正を行えるよう小型のバックホウで先道を切り開いていく手法や、山側の切土高は1.4mに抑えるなど崩壊を防ぎ、永年使用が可能な作業路の開設に努めておられる姿勢に感銘を受けました。



清光林業の車に貼られている道づくりの基本理念
傾斜 37° 切り高 140cm
巾員 250cm

一方で開設費用については10,000円/m以上ともいわれ、一見、高額に思えますが、長期間の使用に耐え、補修の必要も少ないことから、トータルで考えれば安くつくともいえるそうです。

また現在、奈良県では平成23年9月に発生した大規模土砂災害以来、作業路の認定化が進められ、認定された作業路には一定の補助金が出るとのこと。

そのような条件や環境の整備が整えば、府内でもモデル的に開設に取り組み、安全かつ効率的な搬出作業を進めることができると考えます。

また、これからも実施する補助事業による作業路開設においても、岡橋氏の考えの一端でも盛り込み、少しでも強い道づくりにつなげていく必要性を痛感した1日でした。



高槻市内の間伐作業

間伐材の利用が進んでいます！

～高槻市内の事例

され、木材利用の気運も高まりつつあります。そのような気運の中で、昨年度高槻市内で採用された2件の間伐材利用事例を紹介します。

JR西日本管轄内の数多の駅の中で9番目に乗車数の多い高槻駅。駅南側にある松坂屋やショッピングセンターと連絡する大型陸橋広場に高槻市産材を使用したベンチが2基設置されました。

座面にアールを付け、座り心地を向上させた木製ベンチは、その形状や素材からコンクリートの構造物が多い街中でも注目度は抜群です。

設置場所には、屋根がかかっているものの、屋外での設置ということもあり、無色の防腐剤を加工注入した材を使用し、耐久性も折り紙つきです。

このような場所への設置は、木製品の可能性を高めるものであり、今後の展開に期待が膨らみます。



JR 高槻駅南口に設置された木製ベンチ

一方、民間では高槻市日吉台に、実際に間伐現場もご案内し、森林と木材生産の現状もご理解いただき、施設の屋内のかなりの部分に木材を採用いただきました。出来上がった建物はヒノキの香りが漂い、その仕上がりや効果にはご満足いただいているのではないかと思います。

高齢化が進む中で、このような福祉施設は各地で増加する傾向にあります。とりわけ木に愛着の強い高齢世代が、落ち着いて生活する空間を提供する素材として、木材のニーズは一層高まるものと思えます。

このように少しずつではありますが、高槻市産材の認知度が上がることが好ましく、この2つの事例を礎に利用拡大に努めたいと考えています。



ヒノキが香る福祉施設

森林組合の歴史

森林組合の誕生から現代に至る変遷

明治40年 森林組合誕生

私たちの森林組合の誕生は明治40年の森林法改正に遡ります。その森林法は明治30年に制定された歴史のある法律です。

明治29年に各地で大水害が発生したので、治水・治山の必要から、まず河川法を制定し、その翌年に森林法と砂防法を制定したのです。

明治30年の森林法制定時に、林業組合も条文に加えるかどうかの議論があつたようです。その時の議論では森林法は営林の監督を厳重にすることが趣旨なので、林業の自由な立場とはなじまないと、林業組合の条文は割愛されたようです。林業組合に官林、御料林、公有林を加えるかどうかの調整がつかなかったことも、割愛原因の一つと言われています。

結果的には明治40年の森林法改正で森林組合が条文に加えられました。

その時は林業のための組合ではなく、森林回復などの協同施業、運搬や危険防止に対する協同行為をする団体で、営利を目的としな

い社団法人と規定されました。加えて地方長官の許可によって設立されること、主務大臣及び地方長官の監督下におかれることも明記されました。

官林や御料林の扱いは明確に定めていませんが、議員の質疑の中で「官林や御料林は面積なので協同作業に馴染まない」との政府答弁がありました。

森林組合は社団法人と規定され、

今日の森林組合の有りようにも影響を与えています。

一方、森林法改正の目的の一つは、森林法を林業に寄与させることでもあり、林業にも協同活動が必要と認められました。明治時代の終盤になって、明治政府は鉱工業だけでなく、農林業にも力を入れ始めたようです。

昭和14年 産業組合と森林組合

昭和14年に戦時経済社会体制を貫徹させるため森林法が改正され、森林組合の任意設立が強制設立に変わりました。

乱伐抑制や伐採跡地の造林や間伐の徹底的普及、老齢過熟林の利用など、現在の林政とほぼ同じです。

森林組合は治山治水と森林増殖を基本とした施業案を作成し、監督官庁の認可を得て実施することになりました。

一元化統制のため、森林組合連合会が規定設立されたのも、この改正からです。

強制設立ですから、山村においては産業組合との関係が微妙になりました。

改正審議過程での政府答弁は「山村に住んでいる人が生業のために協同する組織が産業組合で、森林所有者が森林のために協同作業するのが森林組合」としています。

具体的には山の仕事であっても、村内で炭焼きをする人々が協同作業する場合は産業組合、林道を敷

設する場合は村外の人でも森林所有者は協同する必要があるため森林組合が担当するとされました。産業組合は農協の前身ですから、現在でも栗の出荷を農協が担っているように、特用林産の分野でさえ農協の方が森林組合より関係が深くなっていると思います。

現代 設立から受け継がれる社会的使命

昭和26年に森林法は改正され、森林組合は森林所有者の協同組織とし、加入脱退の自由と任意設立など民主的に運営されるようになりました。

昭和53年には念願の森林組合法が森林法から分離されました。その後、昭和62年、平成9年、平成17年と森林組合法は改正され、事業目的に工作物の建設、材木の加工販売などが追加されましたが、今でも森林組合は林業の協同組織ではなく、森林所有者の協同組織です。

森林組合は森林組合法で営利を目的として、事業をしてはならないと定められています。

森林所有者の経済的社会的地位の向上だけでなく、森林の保続培養及び森林の生産力の増進も森林組合に課せられた社会的使命です。つまり明治40年に規定された知事の指導監督など、社団法人としての実態や精神がまだ引き継がれているのです。

ですから私たち役員は社会的使命を常に自覚し、高い志と技術で、組合員の方々のご要望にお応



スギの木が土石流を食い止める

えするとともに、森林の安全管理に貢献したいと考えています。（明治30年、40年及び昭和16年は江畑奈良男さんの森林組合の分析1を参考にしました）

「あなたとみんなのまじりのシンポジウム」が開催されました。

平成27年3月1日の日曜日、大阪市中央公会堂において、大阪府が主催する「あなたとみんなのまじりのシンポジウム」が、春明けきらぬ冷雨が降る中、500名を超える参加者が参集のもと、開催されました。

このシンポジウムは森林や都市のみどりが持つ様々な機能の紹介とともに、今後、これらのみどりを、よりよくするための取り組みを府民とともに考えると位置付けられたものです。

弦楽四重奏によるコンサートにはじまり、森林と都市緑化に関連する話題がトークセッション、パネルディスカッションというかたちで提供されました。

トークセッションにゲストとして招かれたバイオリニストの松尾依里佳氏は、森林の中で演奏した



シンポジウムのようす

ときの演者としての心地よさを聴衆に紹介されました。イベントのサブタイトルにある「森林と都市のみどりを次世代へ継承していく」ために有意義なイベントでした。

森林国営保険が森林保険に変わりました ～所管も林野庁から森林総合研究所に

政府が進める行政改革の一環として林野庁が所管していた森林国営保険業務を、平成27年4月1日より国立研究開発法人森林総合研究所に移管し、「森林保険」として新たなスタートを切りました。

保険の内容に大きな変更点はなく、森林のセーフティネットとしての役割は従来通りです。

大阪府内においては当組合が取り扱い窓口となり、保険契約業務を行っています。

火災や気象害など、大切な財産である森林を守るための森林保険にぜひご加入ください。

森林保険は 8つの自然災害に対応

- 火災
- 水害
- 風害
- 雪害
- 凍害
- 干害
- 潮害
- 噴火災



■問合せ
大阪府森林組合本店 ☎072-698-0950



木と土でできた 当組合オリジナルの家

大阪府森林組合 建築事業部

**機能性と豊かさを両立させた
自然素材あふれる住まい**

堺市南区の泉北ニュータウンに竣工したY様邸。大阪府内産のスギ・ヒノキを使い、内外の壁には土（左官壁）を採用。その他にも竹やタモ、チーク、コルク、素焼きタイルなど、自然素材をふんだんに使用した優しい住まいに仕上がりました。

公園に隣接する敷地の特徴を生かし、公園の環境と太陽光を取り込むプランを採用。

その他にも、キッチンを中心とした24畳のLDKや、ダイニングとつながる広々ウッドデッキ、廊下を利用したライブラリースペースをはじめ、機能的な家事動線を盛り込んだ、豊かな住まい方ができる工夫を随所に施しています。



大開口から、公園の豊かな環境と太陽の光を一杯取り込む



家事動線を再優先にプランニングしたダイニングキッチン



廊下を利用したライブラリースペース

ご好評の森林体験ツアー 次回は9月開催決定

今年度の「森林体験ツアー」は、9月26日（土）の開催が決定致しました。

当ツアーは、森林と街とをつなぐ取り組み「モリマチプロジェクト」として、地域の森林での伐採見学をはじめ、木材共販所やウッドベースかわちながの、さらに堺市南区Y様邸を巡る見学ツアーで、森林・木材に対する興味を深めていただくことで木材需要の喚起につなげていきたいと考えています。

詳細につきましては、建築事業部ホームページ、またはフェイスブックページ等でお知らせ致します。

☎ 0120・630・854

建築事業部ホームページ

<http://www.sinrin.org>

建築事業部フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/sinrin.org>

org

木根館・ラ・フォresta イベントのお知らせ

- ラ・フォresta 0721-72-0090
ホームページ <http://www.sinrin.org/foresta/sinrinforesta>
- 木根館 0721-64-8151
ホームページ <http://www.sinrin.org/kinkonkan>

地域に根ざしたさまざまな イベントを開催致します

南河内林業総合センター「ラ・フォresta」では木工作家、小山亨、林靖介による工房家具などの展示販売をはじめ、クラフト作家の作品展を開催しています。

一方、「木根館」では、木の文化の再生と地産地消につながるライフスタイルの提案をテーマとして普及・啓発活動に努めています。

その中でも特に人気の高い、イベント・ワークショップをお知らせいたします。

くみあい通信持参で コーヒー杯無料サービス

「ラ・フォresta」では、9月末までの期間限定で、くみあい通信をお持ちになられた組合員様に、コーヒーを無料でサービスさせていただきます。ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。

◇ワークショップ

施設名	イベント名	内容	開催日	定員	備考
フォresta	木彫体験 「窓辺の野鳥を彫る」	フォrestaの窓辺に訪れる好奇心旺盛なシジュウカラを木彫りしてお部屋のインテリアに	6月28日		予定
木根館	木工教室 ～ままごとキッチンづくり～	大好評のままごとキッチンのキットを作ります	6月28日	12名	予定
フォresta	工房南陶芸教室 「シーサーをつくろう」	陶芸が初めての方でも参加OK。あなただけのシーサー1対をつくります	8月23日		予定
木根館	木工教室 ～ハウス型プランターづくり～	ロープで吊るすタイプの木製プランター。キットになっているので初心者の方もお気軽にご参加ください(W270×D300×H600)	9月27日	36名	予定

※上記のほかにも「La foresta 木工教室」、「水彩画教室」、「木彫り塾」を開講中です。詳しくはラ・フォrestaまでお問い合わせください。

◇企画展

施設名	イベント名	内容	開催日	定員	備考
フォresta	有方文年作陶展	前衛的な陶芸の世界が広がります。	6月3日～7月27日 の金・土・日・祝	—	
フォresta	木の小物展	小山亨、林靖介による木工品展	8月7日～9月27日 の金・土・日・祝	—	

◇イベント

施設名	イベント名	内容	開催日	定員	備考
フォresta	森のマルシェ	こだわりの天然酵母パンや手作りお菓子、地産産の野菜などが並ぶ春から秋恒例のマルシェ	毎月第4日曜日	—	

おすすめ
夏休みの自由研究に
最適な特別企画

夏休み特別企画「シーサーをつくろう」で粘土細工に挑戦しませんか。夏休みの自由研究作品としても最適です。

お子様、お孫様と一緒に、夏休みの思い出づくりにいかがでしょうか。



シーサーをつくろう

山林の伐採・譲渡に係る特例について

山林所得の概算経費控除、森林計画特別控除、分離5分5乗課税方式

昨今、補助事業による搬出間伐が増加し、木材の売上による利益を所有者様に返還するケースが増えています。

木材の売り上げによる所得が「山林所得」として認められた場合、他の収入と合算せず、異なった計算方法「五分五乗方式」により税額を計算する必要があります。これは立木を育てるためには長い年月がかかり、その過程では保育費用が必要であることから、一時的な収入ではなく、長期間にわたって得た収入であるとの判断によるものです。

ちなみに「山林所得」だけが特別なのではなく、所得の種類や性質（現在は10種類）により税額の算出は異なります。

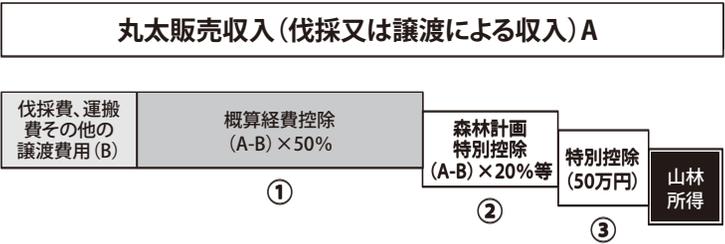
この特別な税額の計算方法を適用するためには、5年を超えて森林を所有していることが条件です。さらに一定期間所有している山林（立木）の伐採又は譲渡による所得に対しては、「概算経費控除」や「森林計画特別控除」のような特例があります。

なお税に関する相談は、近くの税務署もしくは税務相談室にご連絡ください。



概算経費控除方式による場合

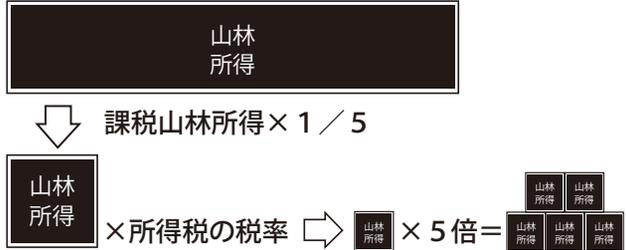
※概算経費控除方式は、伐採又は譲渡した年の15年前の年の12月31日以前から引き続き所有していた山林に限り適用されます。



- ①立木販売収入金額（丸太販売収入から伐採費などを控除した金額）の50%を立木の育成や取得等の費用とみなし、その金額を必要経費とすることができます（概算経費控除）。
- ②森林経営計画に基づいて伐採又は譲渡した場合には、立木販売収入金額の20%などを収入金額から控除することができます（森林計画特別控除）。
※立木販売収入が3,000万円（平成28年分からは2,000万円）を超える部分の控除率は10%となります。
- ③山林所得の特別控除額（最高50万円）を収入金額から控除することができます。

分離5分5乗課税方式の効果

山林所得に対する税額は、他の所得と合算せず、累進課税率を緩和させるため分離5分5乗課税方式により計算します。（住民税は除く）
字のごとく収入を5で割って、その額から税額を算出して、その税額を5乗する方法で昭和29年から導入されています。



- 山林所得が500万円の場合の税額
 $500万円 \times 1 / 5 \times 5\% = 25万円$
- 5分5乗方式でなければ
 $500万円 \times 20\% - 42.75万円 = 57.25万円$

●所得税の税率

課税所得の金額	税率	控除額
195万円以下の金額	5%	
195万円を超え330万円以下の金額	10%	97,500円
330万円を超え695万円以下の金額	20%	427,500円
695万円を超え900万円以下の金額	23%	636,000円
900万円を超え1800万円以下の金額	33%	1,536,000円

和泉市観光案内所「いずみの国観光おもてなし処」が移転オープン

前回のくみあい通信でも掲載しました、府内産間伐材を原料とした集成材ですが、泉州支店を中心にPR活動を進めた結果、和泉市内に移転オープンした観光案内所の備品に採用されました。そもそも搬出経費を賄うことが困難とされる、小径材や低級材の活用とともに、針葉樹の無垢材では製作が厳しいとされる、家具類への使用に耐えうる木材需要に因應することを目的として、取り扱いは開始しました。



府内産ヒノキ集成材



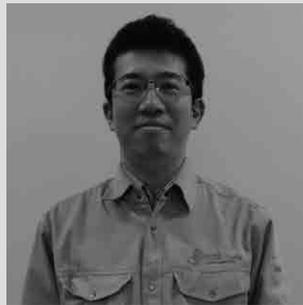
ヒノキ集成材のカウンター

加工は和歌山県田辺市の中辺路集成材加工場に依頼。すでに府内産間伐材を原料とした集成材1ロットは完成し、供給体制を整えていたところ、和泉市役所より今回のお話をいただき、すぐに対応させていただきました。府内産集成材は、内部の2種類の受付カウンターに使用。無垢材とは異なる質感で木材の新たな魅力を、来所者にアピール

お近くの方はぜひ「いずみの国観光おもてなし処」にもお越しください。
場所：和泉市府中町一丁目19-9（JR和泉府中駅前）

認定プランナーが誕生しました

現在、搬出を伴う間伐作業が、造林補助事業の中核に置かれており、施工前の事業をプランニングするプランナーの重要度が高まっています。それを補完するため、プランナーの能力や実績を客観的に評価し、提案型集約化施業の一定の質を確保できるよう、森林施業プランナーを認定する仕組みが設けられました。認定は平成24年1月に設立された森林施業プランナー協会が行い、筆記試験の他、面接による口頭試問が行われます。本年、当組合より4名の職員が認定試験にチャレンジし、全員が合格。晴れて認定プランナーに登録されました。今後の活躍をご期待ください。



豊能支店 山田一成君



三島支店 武山一夫君



南河内支店 中村孝君



泉州支店 木下茂雄君

季節を彩る、府民の森

森林組合が管理に携わる自然あふれる空間

「府民の森」は府政100年記念事業として金剛生駒紀泉国定公園内の主要地点に、府民に自然の風景地と親しむ場を提供し、府民が健康で文化的な生活を確保することを目的として設置された公園です。

当初は生駒山系に広がる園地整備が進められ、その後、北河内、南河内地区でも開設され、現在は9箇所園地が運営されています。当組合では平成23年度から大阪府みどり公社と共同で、中河内地区の4つの園地の運営を中心に、「ほりご園地」を除く8箇所園地の管理に携わっています。

各地域の園地は、それぞれの特色を持ち、さまざまな形で来園者に自然と触れ合う機会を提供しています。

組合では主に樹木や草地の管理を担当していますが、加えて花木の管理も併せて行い、来園者の目を楽しませています。今回は、その中でも中河内地区の「ぬかた園地」



ぬかた園地のアジサイ園 (昨年撮影)



ぬかた園地のアジサイ園 (昨年撮影)

のアジサイ園を紹介いたします。

「ぬかた園地」は東大阪市域の生駒山中腹に広がり、一足伸ばすと遊園地で有名な生駒山上という立地に開設されている園地です。

普段は木々が生い茂り、野鳥の鳴き声こだまする静かな園地ですが、6月後半から7月前半、約30種25,000本のアジサイが色とりどりに壮大に咲き誇り、来園者の目を楽しませています。

開花期間中は近隣からはもとより、名古屋方面より専用列車によりアジサイ観察ツアーで来園される方もおられるなど、約20,000人が訪れる府内随一の規模のアジサイ園といっても過言ではありません。

今年も6月27日〜7月12日まで「アジサイ祭り」の開催が予定されています。ぜひ一度、足を運んでみられてはいかがでしょうか。組合では草刈などの園地管理とともに、アジサイの落花後の剪定作業を実施。知識と技能を兼ね備えた技術者の手によって、翌年の

開花状況を左右する責任重大な剪定作業を担当しています。

また隣接する「なるかわ園地」では、毎年ゴールデンウィークの後半から見頃の「つつじ園」も組合が植生管理しており、樹木だけでなく、さまざまな植物管理を手掛け、自然の素晴らしさをたくさんの方々に感じていただける活動を行っています。



組合によるアジサイ剪定作業



なるかわ園地のつつじ園 (今年撮影)

オススメ!
の逸品

これからのシーズン 屋外作業のお伴に森林香

農作業や庭の手入れなど屋外の作業の機会が増えるこれからの季節。快適な作業をお約束するプロが推奨する防虫線香の「パワー森林香」。カ・ブヨ・アブなど、イヤな虫を寄せ付けません。組合員様向けに特別価格にて販売いたします。ぜひこの機会にお求めください。

パワー森林香 (30巻入)

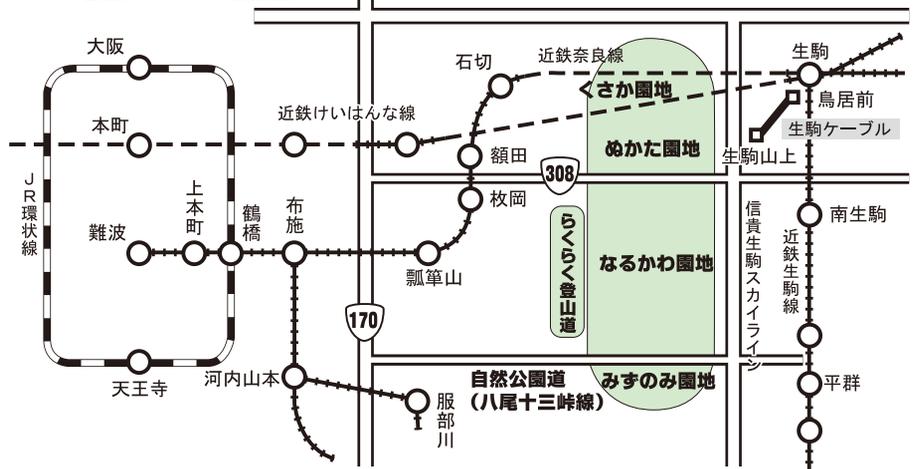
(通常価格) 1,572円を **27% OFF!!** 特別価格 **1,140円** (税別)
専用携帯防虫器 特別価格 **900円** (税別)

ご注文は最寄りの支店まで

※この商品は熱量が高いため、携帯される場合は専用の防虫器をお求めください。
※使用上の注意をよく読んでご使用ください。



●中河内地区府民の森位置図



■ぬかた園地へは
近鉄奈良線「額田駅」下車。摂河泉展望ハイキングコースを徒歩約80分。
近鉄奈良線「生駒駅」より近鉄生駒ケーブル「鳥居前駅」乗車、「生駒山上駅」下車。徒歩約20分。
近鉄奈良線「石切駅」下車。近鉄生駒ケーブル「鳥居前駅」乗車、「生駒山上駅」下車。徒歩約80分。

■なるかわ園地へは
近鉄奈良線「瓢箪山駅」下車。なるかわ谷ハイキングコースを徒歩約60分。
または、客坊谷ハイキングコースを徒歩約40分。
生駒ケーブルを利用する場合、生駒山上駅で下車してぬかた園地を抜け、徒歩20分で「森のレストハウス」に到着できます。
(お車の場合)
国道170号線「下六万寺東」交差点を東へ進むと「らくらくセンターハウス」(画面中央のマーク)へ到着します。ハウスの手前にはらくらく登山道の駐車場がありますので、ご利用下さい。
(普通車) 55台、障害者用15台



丸大食品
心に残る贈り物
丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます

大阪府森林組合の皆様には特別価格でご案内申し上げます。同封のチラシをご覧ください。

丸大食品株式会社 中日本特販営業課
〒557-0063 大阪市西成区南津守2-1-10
TEL 06(4398)3038 FAX 06(4398)3063